

進化する非常食⑦

カリフォルニアブランド・MEIから3年保存のカレー缶

MEI

[MEIカレー]

カリフォルニアらしいカラーリングやグラフィックを使ったカジュアルバッグで人気のMEIは、近年ファッションシーンにも進出。今回のキャンプコレクションではミニマムデザインの食器とともに、備蓄食としても重宝するこのカレー缶が登場させている。3年保存。内容量:280ml/価格748円



子どもから高齢者まで幅広く人気があるカレー。お湯で温めるだけですぐに食べられるレトルトカレーの種類も豊富で、家庭内でのストックもごく普通に行われ、食卓を楽しませてくれる。と同時に、肉や野菜を一度に摂れ、栄養価も高く、誰もが食べられる「非常食・保存食の優等生」でもある。それだけ好みがあるだろうが、選択肢のひとつに加えるのが、アウトドア&サーフカルチャーをベースとしたカリフォルニアの人気バッグブランド・MEIから登場したカレー缶「MEIカレー」だ。新たに提案するキャンプコレクションのひとつで、野菜の旨みを活かしたソースに、スパイスを効かせたオーソドックスなビーフカレーを、リユースしたくなるようなシンプルデザインの缶入りで提供。内容量は280mlと、一般的なレトルトカレーよりやや多めなものも頼もしい。保存期間は製造日から3年なので、備蓄用としてもOK。キャンプやアウトドアの携行食としてはもちろん、ちょっとお洒落な備蓄食としても活用範囲は広い。

進化する非常食⑧

レンジで10分、非常時は水でもOKの美味しい非常食！

関川産業

[10分早炊きご飯]



「おにぎりご飯」というネーミングが付けられているが、でき上がるのは美味しい「炊き込みご飯」である。それをおにぎりにするかどうかはお好み次第。わずか10分ほど簡単に美味しいご飯ができるので、普段の食卓では自由なアレンジが楽しめる。上の写真は、ちょっとお洒落なワンプレートメニューに。



根菜たっぷり「おにぎりご飯 早炊き米 根菜」。内容量:108g/価格626円



黒舞茸入り「おにぎりご飯 早炊き米 舞茸」。内容量:104g/価格626円

「美味しい」は被災者を元気づける一助として、非常食の美味しい化も進む。関川産業の「おにぎりご飯 早炊き米」は、電子レンジで10分(500W)の加熱で、美味しい炊き込みご飯ができ上がる。調理方法はいたって簡単。耐熱皿に中身を移し、200ccの水を加え、レンジへ。加熱終了後にフタをして2分ほど蒸らすのが美味しさのポイント。仕上げに軽くかき混ぜれば炊き込みご飯が完成。そのまま食べるもよし、おにぎりにするのもよし。早炊きの秘訣は、ご飯をアルファ化米にしていること。したがって、電子レンジが使えない災害時には水だけでも調理可能。袋に直接水を注ぎ、袋内で米と具材を混ぜて約60分、美味しい非常食ができ上がる。レンコン・ゴボウ・ニンジンなどが入った「根菜」と、地元・新潟県産の黒舞茸を使った「舞茸」の2種類を用意。お茶碗2杯分の食べきりサイズで、賞味期限12ヶ月。普段は気軽に調理できる「炊き込みご飯」として、いざという時には「美味しい非常食」としてストックしておきたい。

進化する非常食⑬

リポビタンブランドから5年保存のゼリーで水分&栄養摂取

大正製薬

[リポビタンJELLY 長期保存用]



被災時・災害時に水分と栄養を同時に摂取できる、飲みやすいゼリータイプのリポビタン。かさばらないポケットサイズで、5年の長期保存(製造時66ヵ月の賞味期限)が可能のため、家庭はもちろん、避難所や企業、学校などの備蓄食品としても適している。ノンカフェイン、アレルギー物質28品目不使用。内容量: 100g、(エネルギー)200kcal/価格(8袋入)2592円

テレビから流れる「フアイト イッパーツ」の力強いコピーとともに、疲労回復・栄養補給のドリンクとして誰もが知っている「リポビタンD」。発売開始は1962年(昭和37年)で、ホームラン王・王貞治氏も出演した歴代のテレビCMも時代を反映して印象深い。現在では30種類近くのラインナップを誇るリポビタンシリーズに新たに登場したのが、「リポビタンJELLY 長期保存用」だ。飲みやすいゼリータイプで、5年(66ヶ月)の長期保存が可能。1袋100gで200kcal、さらにノンカフェイン、アレルギー物質28品目不使用なので、非常時に水分と栄養摂取が同時にできる。かさばらないポケットサイズは、水不足や栄養の偏りが懸念される災害時に備える備蓄防災食としても適している。ローリングストックで適時に消費しながらの家庭内備蓄はもちろん、多くの人が集まる避難所や企業、学校などの備蓄品としても役立つ。キビしい災害状況下でも、頑張る人々を応援するリポビタンシリーズから新登場した一品で乗り越えよう。

進化する非常食⑬

常温で120日間保存可能、豆腐もローリングストック！

さとの雪食品

[ずっとおいしい豆腐]



図1

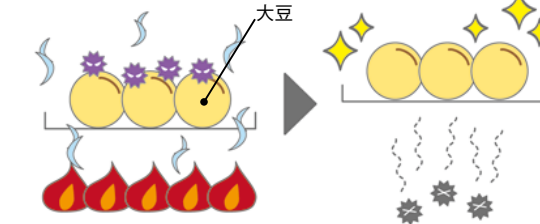
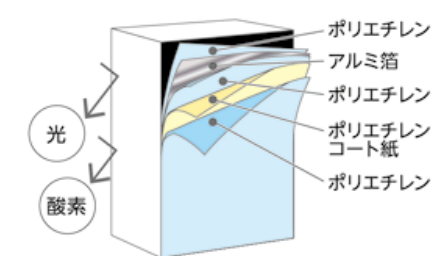


図2



紙パック包装で、120日間も常温保存ができる「ずっとおいしい豆腐」。常温保存の妨げになる大豆由来の菌の殺菌条件を導きだして豆乳を無菌化(図1)し、酸素と光を遮断する特殊な紙包材を開発(図2)して、無菌空間で容器を成形し無菌豆乳とにがりを充填する技術により実現した。非常時の食事は、普段から食べ慣れたモノを用意することも大切。豆腐をローリングストックし、災害時でもいつもと同じモノを食べることで安心感を得ることができる。内容量:300g/価格171円



多めにストックした食品を定期的に消費し、消費した分だけ買い足しながら、家庭内で食品備蓄をするローリングストック。醤油や味噌、乾麺など、賞味期間の長い食品がその対象とされ、いわゆる生モノは対象外とされてきた。そんな常識を覆すのが、さとの雪食品の「ずっとおいしい豆腐」だ。紙パック包装のまま、常温で120日間も「豆腐本来のおいしさ」を保存できる画期的商品である。これを実現したのは3つの技術。常温での保存・流通の妨げになる大豆由来の菌を抑えこんでの豆乳の無菌化。豆腐の風味を損なう酸素と光をブロックする特殊な紙包材を日本製紙株式会社と共同開発。そして、無菌空間でこの紙包材を容器に成形し、無菌化した豆乳とにがりを充填する無菌充填技術の確立によって、商品化。常温で120日間(4ヶ月)も保存できるとなれば、ローリングストックも可能。自宅避難を余儀なくされた時はもちろん、コロナ禍でのステイホームで買物の頻度を控えた時にも、「おいしくて良質なタンパク質」を確保できる。

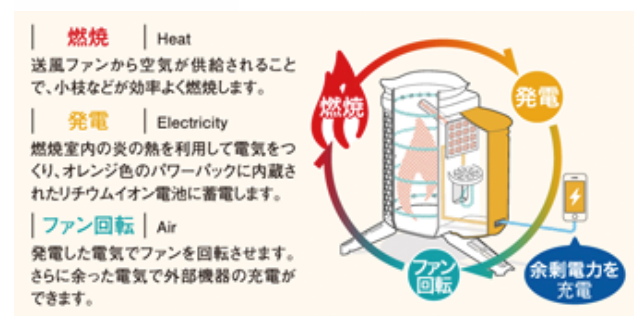
アウトドア用品が災害時に役に立つことは、もはや常識。時代は焚火をしながら電気を作るステージへ

[キャンプストーブ2 PLUS]

焚火の熱から電気を生み出し、
その電気で火力を安定させて、発電も安定、充電も可能。
小さくても、偉大なストーブがある！



小さなストーブだが、「燃やした火の熱を電気に変換し、その電気でファンを回し、火力を安定させて発電する」という熱と電気のエネルギー循環システムを実現。サイズ：(収納時)φ12.7×H21cm／重さ：935g／発電能力：3W@5V／付属品：フレックスライト・収納袋2(キャンプストーブ用・モジュール用)・本体充電用ケーブル・着火剤／価格1万9800円



電 気・ガス・水道などのない自然の中で過ごすことを目的としたアウトドア用品が、ライフラインを失った災害時に役立つのは当然とも言える。携帯できるストーブやバーナーなど、アウトドアでの炊き炊きを担う火器類もそのひとつ。2012年に登場し、発電するストーブとして世界中で反響を呼んだのがバイオライトの「キャンプストーブ」。その進化モデルが『キャンプストーブ2 PLUS』だ。ガスや石油などの化石燃料に頼らず、拾い集めた薪を燃やすプリミティブで小さなストーブだが、ただ火を燃やすだけではない。焚火が発する熱を電気に変換。その電気でファンを回してストーブ内に送風し、燃焼効率のいい安定した火力を得る。ファンの送風は4段階に調整でき、調理に合わせた火力調整もできる。しかも、発電能力が大きくアップされ、作られた電気は内蔵バッテリーに蓄電でき、スマホなどへの充電も可能だ。自然環境に負荷をかけない熱と電気のエネルギー循環は、ライフラインを失った環境でも大いに役立つ。

食品だけでなく、日常品もローリングストックを。常に乾電池をストックすることで、危機回避する

[バッテリーストッカー]

電池残量チェッカーと乾電池式充電器が
乾電池ストッカーとお洒落に一体化。
「肝心な時に使える電池がない」を防ぐ！



インテリアにもなじみ、どこにでも置けるフェーズフリーデザイン。サイズ：W84×D84×H177mm／カラー：ホワイト・ベージュ／価格3300円(※乾電池・充電用USBケーブルは別売)

1段目は卓上LEDランタン＆バッテリーチェッカー、2段目は乾電池式モバイル充電器、3段目は24本収納の単四乾電池用・4段目は12本収納の単三乾電池用のストッカーで構成。

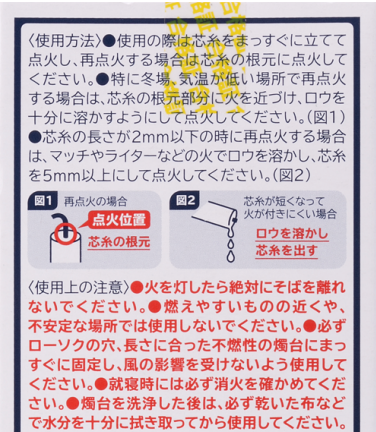


日 常で使いながら、使った分を補充して一定の家庭内備蓄をキープするローリングストックの対象は食料品と思われるが、乾電池だってその対象だ。ストックしておいた乾電池が自然放電で使えない、使いたいサイズがない、というのは「乾電池あるある」としてよく聞く話だ。ハシーから登場した多機能「バッテリーストッカー」は、画期的な4段階構造でそんな「あるある」も解消してくれる。お洒落な円筒形の本体は上から1段目は卓上LEDランタン＆バッテリーチェッカー、2段目は乾電池式モバイル充電器、3段目は24本収納できる単四乾電池ストッカー、4段目は12本収納できる単三乾電池ストッカーによって構成されている。つまり、使用頻度の高い単三・単四乾電池のストッカーとしての役割と同時に、ストックされている乾電池の電気残量チェック＆卓上ランタンとしての活用、さらにストック乾電池を利用してスマホなどへのUSB充電までできるという優れモノ。これなら「つつかりあるある」の心配もない。

最もプリミティブだからこそ信頼性が高い防災グッズ。
いざという時に役に立つ、いつも仏壇にある豆ダルマ！

〔豆ダルマ〕

非常用ライトやランタンがあるから大丈夫？
電池がない、電池が切れた…大丈夫、ローソクがある。
小さくても頼りになるカメヤマの「豆ダルマ」



おなじみ「カメヤマ 小ローソク 豆ダルマ」。本数により4種ある。サイズ: (1本) φ7.5×H50mm / 燃焼時間: 約19分 / 価格 (約50本入り) 275円、(約90本入り) 484円、(約126本入り) 583円、(約252本入り) 1089円

豆ダルマは燃焼時間が約19分と短いためガラスコップにローソクが充填されていて安定感のある「非常用コップローソク(マッチ付)」¥550(税込)を用意しておく

停電の備えとしてこの家庭でも懐中電灯やランタンを用意している。もちろん、非常用持ち出し袋の中にも同じように備えられているはずだ。でも、それだけで本当に大丈夫か？ 北海道全域がブラックアウトに見舞われた2018年の北海道胆振東部地震。最大1週間にも及んだ停電で、夜の家族に明かりを灯したのはローソクである。乾電池と同じようにローソクも品薄状態となり、店頭から姿を消した。電池切れを心配することなく、明かりを灯してくれるローソクの存在感も見直され、多くの非常用ローソクが発売されている。ローソクのトップブランド・カメヤマにも燃焼時間が24時間、35時間という非常用ローソクがあるが、あえて『豆ダルマ』を取り上げたのは、いつも必ず仏壇のそばにあるからだ。懐中電灯にもランタンにも頼れない時、「火災の危険を避けるため裸火ではなく、広口のガラス容器に豆ダルマを立て、火を灯す」だけで小さな照明が上がる。小さな豆ダルマを活かす豆知識、覚えておけば頼りになる。

コロナ禍の今、事が起きた時に後悔しないよう
「除菌・抗菌」は常に意識しなければならない

〔除菌UVケース&抗菌銅ペンKIREID〕

マスクによる飛沫感染防止も大事だが
そのマスクの除菌も同じように大切。
ボールペンだって抗菌の時代だ



紫外線でスマホやマスクを最短8分で除菌。香り付けできるアロマ機能付き。内容: 除菌UVボックス本体・USBケーブル・スボイト・拭き取り用クロス / サイズ: W217×D125×H58mm / 重さ: 387g / 価格8459円



優れた抗菌性・抗ウィルス性のある三菱マテリアルの耐変色銅合金「クリーンブライト®」をペン軸に使用した「KIREID」。替え芯2本付き。サイズ: φ10.5×140mm / ボール径: 0.5mm / 価格1320円

注: すべての菌・ウィルスに効果があるわけではありません。病気の治療や予防を目的とする製品ではありません。

さまざまな研究データから、非常に高い確率で細菌やウィルスを除菌できることが証明されている紫外線。コロナ禍が続く中で、人工的に紫外線照射をすることで身の回りのモノを除菌するアイテムも次々と登場している。ナカバヤシの「除菌UVケース」もそのひとつだ。どこにでも持ち歩けるコンパクトサイズで、毎日使うマスクやスマホなどを自宅でもオフィスでも気軽に除菌できる。対象物をボックスに入れ、フタをして電源ボタンを押す。8分間の紫外線照射が終われば、LEDランプが青になり除菌終了。除菌しながら、アロマの香りが付けられる「アロマ機能」も付いている。ナカバヤシからは、抗菌仕様のボールペン「KIREID」が登場。ペン軸に使用した三菱マテリアルの耐変色銅合金「クリーンブライト®」は、優れた抗菌性・抗ウィルス性を有する。毎日使う筆記用具だからこそ、少しでも安心できるものを使いたい。長引くコロナ禍での日常生活では「後で後悔しないため」の備えに、「過ぎる」ことはない。